

お薬のしおり

副作用に気づくためには？ No.120 (H24.2)

東京医科大学病院 薬剤部

薬局や病院で薬をもらうとき、服用する薬の副作用について、薬剤師から説明を受けたことがあると思います。そのような時、もし「副作用が起こってしまったら？」と不安に感じたり、もう少し副作用の初期症状について知っておきたいなと思ったりしたことはありませんか？あるいは、実際に副作用と思われる症状が出てしまい、どうしたらよいのか困ったことはありませんか？

医薬品医療機器総合機構（PMDA）では、患者さん向けの重篤副作用疾患別対応マニュアル（以下、対応マニュアル）を公開しており、重篤な副作用について知りたいときにいつでも調べられるようになっています。

対応マニュアルには、患者さんやその家族の方に知っておいてほしい副作用の概要、初期症状、早期発見・早期対応のポイントについてできるだけわかりやすい言葉で書かれています。厚生労働省が平成17年度から開始した「重篤副作用総合対策事業」により作成されており、作成された対応マニュアルは順次、ホームページにて公開されています。

重篤な副作用は、ごくまれにしか起こらないので、心配しすぎる必要はありません。しかし、いざ副作用が起こった時に、副作用とは気づかずにそのままにしておくと、健康に大きく影響することがあるので、「早めに気づいて対処する」ことが大切です。副作用の初期症状を知っていれば、症状が重くならないうちに対処することができます。

対応マニュアルは PMDA のホームページから見ることができます（<http://www.pmda.go.jp/>）。一般の皆様向けの欄にある「重篤副作用疾患別対応マニュアル」をクリックすると副作用名と症状の一覧が表示されます。

このホームページは、PMDAの事業について紹介しています。

医薬品・医療機器の説明書(添付文書) 審査報告書などの情報については、こちらをご覧ください。 [医薬品医療機器 情報提供ホームページ](#) [www.info.pmda.go.jp](#)

添付文書に記載された副作用情報が検索できます [副作用情報](#) [Click](#) 添付文書に記載された禁忌が検索できます [禁忌](#) [Click](#)

特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅲ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法に基づく給付金の支給等について [給付金支給相談窓口](#) TEL 0120-780-400

一般の皆様向け 薬に関する情報を提供しています

[一般の皆様へ](#)
[患者向医薬品ガイド](#)
[おくなりQ&A](#)
[重篤副作用疾患別対応マニュアル](#)
[くすりの説明文書検索](#)

おくなり相談・医療機器相談窓口のご案内

注意 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)職員を装った不審な電話にご注意ください

新着情報 [RSS](#)



ここをクリック

部位・領域	副作用名	症状
心臓・循環器	うっ血性心不全	「動くと息が苦しい」、「疲れやすい」、「足がむくむ」、「急に体重が増えた」、「咳とピンク色の痰」
心臓・循環器	心室頻拍	「めまい」、「動悸」、「胸が痛む」、「胸部の不快感」、「意識消失」、「失神」、「けいれん」
泌尿器	出血性膀胱炎	「尿が赤味を帯びる(血液が混ざる)」、「尿の回数が増える」、「排尿時に痛みがある」、「尿が残っている感じがする」
泌尿器	尿閉・排尿困難	「おしっこがしたいのに出ない」、「おしっこの勢いが弱い」、「おしっこをしている間に何度もとぎれる」、「おしっこが出るまでに時間がかかる」、「おしっこ出すときにお腹に力を入れる必要がある」、「おしっこをしたあとにまだ残っている感じがする」などがみられ、これらの症状が急に強く自覚されたり、持続したりする。

さらに詳しく知りたいときは副作用名をクリック

症状が書かれています

用法・用量をきちんと守って薬を服用していても、重篤な副作用を完全に予防することはできません。しかし、副作用の初期症状に気づき、適切な治療を受けることで、症状が悪化するのを防ぐことができます。より安全な治療を行う上でも、対応マニュアルを参考にして、何か気づいたことがあれば、医師・薬剤師に相談してください。